

伊丹市議会議員 **おおつる 求**の活動報告**みんなちがって、
みんないい**

国が「放課後児童クラブ」の職員配置基準を“事実上撤廃”しても

国基準より手厚い「現行水準」職員配置を確保していく。

市の“価値ある答弁”を引き出す。

【質問要旨】

厚労省が「放課後児童クラブの職員配置基準(*)を事実上、撤廃方針」、「通常国会に児童福祉法の改正案を提出」と報道されている。

この改正(案)は、子どもの安全確保を目的に2015年に施行した「従うべき基準」を、拘束力の無い「参考基準」に変更し、自治体が独自に職員配置人数や資格要件等を決めてよい、とするもの。

法改正されても、市は「現行水準を確保すべき」と考えるが、見解を。

国の職員配置基準

- 1教室に職員2人以上
- その内1人は保育士や社会福祉士等、一定条件を満たし、かつ都道府県の研修を受けた「放課後児童支援員」とする、となっている。

【こども未来部長答弁(抜粋)】

放課後児童クラブは、年齢や発達の状況が異なる児童が入所するため、安全面に配慮しながら保育し、継続的に育成支援をおこなう必要があり、指導員には高い能力・見識が求められる。

本市は1教室に2名ずつ嘱託指導員を配置し、かつ指導員は保育士または教員免許を取得しており、国基準より手厚い。

今後も多人数加配や支援児加配など必要な体制を確保し、「現行水準の確保」に努めていく。

第14回議会報告会は特別版！

日時:3月3日(日) 午後2時から

場所:稲野センター 集会室
(稲野町4-46)

ゲスト:中川智子さん
(宝塚市長)



放課後児童クラブは、市内1500名を超える子どもの貴重な居場所だけに、市の答弁は評価できるものです。

ただ、指導員不足・指導員の待遇改善、施設整備の遅れなど、現状は難題が山積しています。

この答弁を活用し、より良い環境の“見くら”になるよう頑張ります。

12月議会 アレコレ

12月議会は、私を含め19名の議員が一般質問しました。
その中から、身近な話題をピックアップしてご報告します。



資源物など無断持ち去りの抑止力になるか!?

自治会等にとって廃品回収は貴重な収入源。中でもアルミ缶は買取り単価も高い。そのアルミ缶など資源物等を無断で持ち去る行為が、市内で多発していることから条例を改正し、持ち去り行為に対する禁止命令、及び禁止命令に違反した場合には20万円以下の罰金を定めた。周知期間の後、7月1日から施行される。

認知症の理解促進にむけて

認知症は全ての人にとって身近な病気。17年度、市は認知症高齢者への正しい理解の普及の為、中学校2校の1年生400名対象に認知症サポーター養成講座を開催した。今年度は中学校4校・小学校1校で開催予定。



充電式電池や小型家電は“適正処理”をお願いします

豊中伊丹スリーR センターで、充電式電池が原因の火災が16年度82件、17年度162件、今年度は10月時点で183件発生し、分別回収が大きな課題になっている。

市は廃食用油・危険品の拠点回収に17年4月から充電式電池など廃乾電池を回収品目に追加し、月1回から週1回に。また小型家電や水銀廃製品回収ボックスを市内7カ所の支所・分室にも拡充した。



包括支援センターの現状と対策

地域包括支援センターの介護予防ケアプラン作成数や相談件数が増加している。相談内容も医療や生活環境など複合的な課題や、高齢者虐待などが増加傾向。その対応として人員増員と共に、従来は職員1人あたり25件限度に作成していた介護予防プラン作成事業を、居宅介護支援事業所への委託を進めている。

食品ロスの原因は、買い過ぎ・食べ残し・過剰除去

本市のゴミ排出量は、01年度をピークに減少に転じ、17年度は3割超削減を達成。特に家庭系ゴミの適正分別により約2万トン減量したが、燃やすゴミ処理目標は4万7千トンであり、未だ大きな乖離がある。

家庭系ゴミに占める食品廃棄物は約40%。うち食品ロスが38%を占め、年間1人あたり1万7千円分相当を破棄している計算になる。私たち自身の課題。



公共施設再配置

公共施設再配置が急速に進んでおり、数年で大幅に変わる予定です。
より良いものになるよう、しっかりチェック・提案していきます。

《中央公民館》

＊耐震不足。＊老朽化。



結婚式・宿泊事業を廃止し、
全面改修したスワンホールに移転。

《女性・児童センター》

＊耐震不足。＊老朽化。＊認定こども園建設。



＊男女共同参画機能は産業情報センターへ。
＊児童館・貸室建物を新築。＊児童プール廃止。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
中央公民館 スワンホール	基本・実施設計	改修工事休館	取り壊し → 使用開始			
女性・児童センター 児童館機能	検討 →	設計・取り壊し・工事	→ 使用開始			
男女共同参画	検討 →	設計・改修工事	→ 使用開始			
博物館	基本計画	基本・実施設計	移転先での改修工事	使用開始		
市役所本庁舎	基本設計	実施設計 → 新築工事 →			現庁舎解体 → 新庁舎使用開始	

《博物館》

老朽化。図書館移転で来館者激減



美術館・工芸センター・伊丹郷町館などが集まる『みやのまえ文化の郷』へ移転。総合ミュージアム化を目指す。

《市役所本庁舎》

耐震不足。老朽化。ユニバーサルデザイン非対応



＊免震工法で地上6階・地下1階に建替え。
＊敷地の北側緑地及び西側駐車場に建設。
＊新庁舎完成後、現庁舎を解体、緑地に整備。

《幼児教育推進計画による就学前施設統廃合》

新施設	開園年月	場 所	廃園幼稚園・保育所
(仮)南部こども園	2020/4	女性・児童センターの一部	鈴原幼・南幼・こばと保の一部定員
(仮)西部こども園	2020/4	桜台幼稚園の増設	稲野幼・桜台幼・花里幼・桜台保
(新)こばと保育所	2020/4	稲野運動公園内の一部	こばと保育所の新築移転
(仮)南西部こども園	2022/4	笹原幼稚園跡地	摂陽幼・笹原幼・昆陽里幼・西保

フォト・ダアイアリー [おおつる求フログから]



[写真説明・左上から時計回り]

- 絵・写真など力作ぞろい。第41回稲野総合文化展。
- 毎年恒例、阪神土建労組と市との政策懇談会。
- フェスタ・イン・いたみ。会場を盛り上げるグッディ。
- 秋祭り。一日かけて、子どもだんじりが町内を巡行。
- 湯浅誠さんを講師に伊丹市議会人権学習会。



いたみのすうじ

小学生 7.1%

中学生 9.1%

「朝食を毎日食べていますか？」との問いに対し、「あまり、又は全くしていない」と回答した児童・生徒の割合。

全国学力・学習状況調査結果より。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留もとむ

伊丹市議会議員 おおつる 求

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。

■ 近畿大学法学部法律学科卒 ■ 国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■ 中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■ 建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局 ■ 2015年の伊丹市議会議員選挙に社民党公認で立候補、初当選。現在1期目 ■ 会派「フォーラム伊丹」所属。

日々雑感

- なぜ、万博とカジノ誘致がセット？
- ↓ 新聞を手に万博へ行くかを早くも悩む息子。7年あるから、ごゆっくり。
- 街には色々な看板や貼紙がある。地域で違いがあり、とても興味深い。
- 温故知新。死者458名、CO中毒患者839名。戦後最大の労災事故・三池炭鉱炭じん大爆発から55年。
- 「霜降り」って何？「M-1」を見ていた下の子の問いに「良いお肉」と母。
- 映画「焼肉ドラゴン」の舞台。人権フェスタで旧中村地区を歩く。知らなければならぬ歴史。人間の力強さ。
- 「良い時も悪い時も、楽しむことができた」エンゼルス・大谷選手の言葉。
- 自転車事故が例年以上に増加中。
- 「この時期の天候は晴れる日が多く且つ温暖であるため、アスリートが最高の状態でパフォーマンスを発揮できる理想的な気候である」(東京オリパラ立候補ファイル)。猛暑は理想的？
- 2回目の挑戦、勝負の年が始まる。